

# 文学評論(外国文学) にご担当者様

3月中旬刊◆花乱社

## シャイロックの沈黙

ヴェニスの商人・飽くなき亡者は誰か

弁護士 坂本佑介 著

四六判 上製 256頁

定価 2,160円(本体 2,000円+税)

ISBN978-4-905327-68-4 C0095



400年間、誰も語らなかったシェイクスピアの魂の叫び。

『よみがえる「ハムレット」』に続くシェイクスピア精読シリーズ第2弾！  
物語は謎かけで始まり、復活したポーシアの父親がヴェニスの商人の悪を滅ぼす別の物語の幕開けで終わりを告げる。悪者の「ぬか喜び」が善の力によって滅びるからこそ、『ヴェニスの商人』は喜劇なのだ——

なぜ作者はシャイロックに肉1ポンドの裁判を提起した理由を語らせなかったのか。弁護士が読みとく[本当の悪人]は誰か！

■終章より 『ヴェニスの商人』は、まさにユダヤの民に対する偏見の物語である。シェイクスピアがその偏見に対し「ノー」を突きつけた物語である。しかし、四百年間、ユダヤ人であるシャイロックこそ極悪非道の人間とみなす基調で書かれたものとして読まれてきた。これ以上の偏見の例を私は知らない。

### ■著者紹介

坂本佑介

弁護士。九州大学文学部卒業

著書=『よみがえる「ハムレット」—正しい殺人/死者の復讐』(海鳥社、2008年)、  
『ロミオとジュリエット・悲劇の本質』  
(2017年4月刊行予定)

### 目次

序文	第7章 裁判と判決の問題点
第1章 『ヴェニスの商人』の概要	1 証文作成の経過
1 くじ引きによる結婚と借金話	2 ポーシアの驚き
2 人肉裁判	3 シャイロックの沈黙—深い悲しみ
3 その他の結婚話	4 判決に込められたアントーニオの野心
第2章 現在までの読まれ方	第8章 ポーシアの「絶望の詩」
第3章 謎かけで幕が上がる	第9章 絞首に関する科白など
第4章 召使いランスロットの転職	第10章 限りない欲望
1 良心の痛み	第11章 正しい人間の復活
2 「鳩」について	1 物語のまとめ
3 ランスロットの罪状	2 謎の恋の歌
4 仕掛人は誰？	3 ポーシアの父は生き返った
第5章 指輪と猿の物語	4 偏見と先入観
—ジェシカ論	
第6章 グラシアーノの謎の乗船	おわりに—批判のお願い

花乱社	注文	日付	ご担当	ISBN978-4-905327-68-4 C0095
【貴店番線印】				シャイロックの沈黙 ヴェニスの商人・飽くなき亡者は誰か
	冊		様	定価2,160円(本体2,000円+税)
	地方小扱			福岡市中央区舞鶴 1-6-13-405 TEL 092-781-7550

\*ご注文は、花乱社 FAX 092-781-7555 までお願い致します。